

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース 10 月レポート
「埼玉県議会議員の来訪」

10 月に入ると同時に肌寒くなり、フィンドレーの街並みも秋色づいてきました。学校生活やインターンシップにも慣れ始めて来ました。10 月はハロウィン関係の様々なイベントもあり、アメリカらしい 10 月を過ごすことができました。今回のレポートでは秋休み期間に行ったマンモス・ケーブ国立公園と埼玉県議会議員の訪問について報告したいと思います。

マンモス・ケーブ国立公園

秋休みを利用して、ケンタッキー州にあるマンモス・ケーブ国立公園という世界遺産に指定され、世界で最も長い洞窟群がある国立公園に行きました。約 2 時間の洞窟ツアーに 2 つ参加しました。洞窟の迫力に圧倒されるとともに、その神秘的な風景に癒されました。また、ガイドの説明やパフォーマンスも面白かったので、どちらのツアーもあっという間の 2 時間でした。特に印象に残ったのは Cave Flower（ケーブフラワー）という花の形をした鍾乳石です。本当に洞窟に花が咲いているようでした。この観光地は世界遺産であるものの、有名ではないので日本人観光客はほとんど見かけませんでした。このような穴場のスポットに行けることも留学の魅力の一つだと感じました。



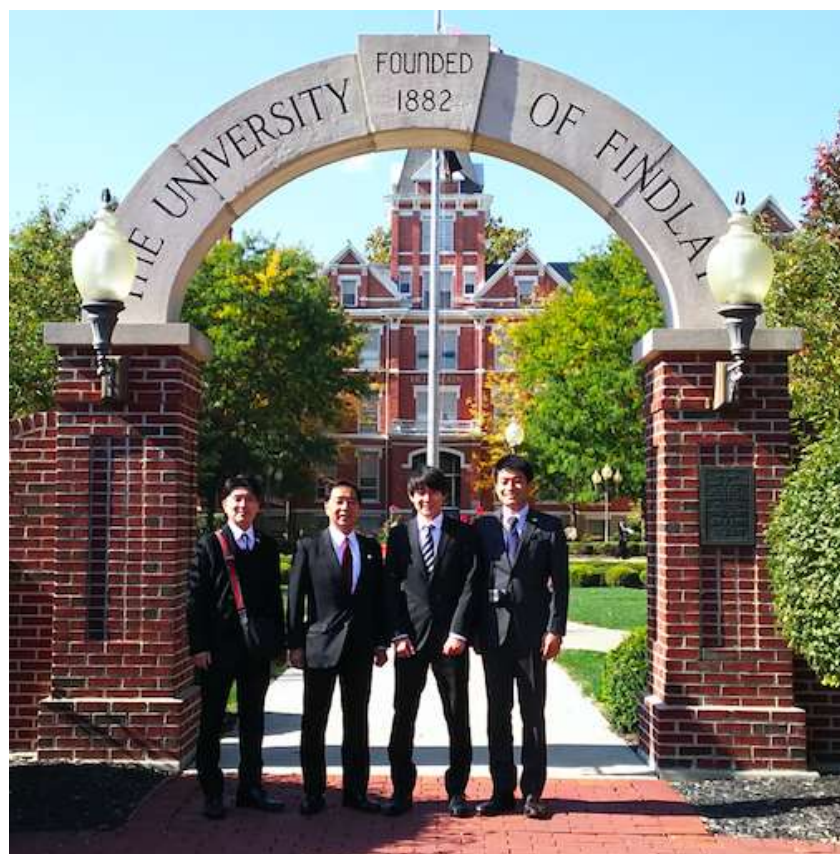
ツアーの様子



Cave Flower

埼玉県議会議員のフィンドレー大学訪問

アメリカでは大統領選挙も近づき、テレビをつけると頻繁に各候補者の宣伝CMが流れています。そんな中、埼玉県と姉妹都市であるここオハイオ州でアメリカの選挙の調査をするために、埼玉県議会議員の方々がフィンドレーを訪ねて来ました。私たち埼玉県奨学生はランチの席での対談と、キャンパス内の案内を任されることになりました。議員の方と接するのに最初はとても緊張していたのですが、議員の方々は気さくで話しやすい方ばかりで、楽しい時間を過ごすことができました。最後には植樹式が行われ、埼玉県とフィンドレー大学の繋がりが、より深くなったように感じました。



自分が案内を担当した議員の方々と